

各 位

会社名 ナトコ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 粕谷 忠晴  
 (JASDAQ・コード4627)  
 問合せ先  
 役職・氏名 専務取締役 粕谷 健次  
 電 話 0561-32-2285

## 平成18年10月期中間(連結・単独)業績予想との差異及び 通期(連結・単独)業績予想の修正について

平成18年10月期(平成17年11月1日~平成18年10月31日)の業績予想について、平成17年12月15日付当社「平成17年10月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成17年10月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成18年10月期 連結業績予想の修正等

##### (1) 中間期(平成17年11月1日~平成18年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	5,550	260	110
今回修正(B)	5,850	505	216
増減額(B-A)	300	245	106
増減率	5.4%	94.6%	96.7%

##### (2) 修正理由

当中間期の売上高は、塗料事業においては国内の住宅着工件数が堅調に推移したこともあり、建材用塗料の売上が増加いたしました。一方、ファインケミカル事業では、特に自己治癒コーティング材の使用量が電子材料分野を中心に増加しました。また、その他の分野では廃棄物処理の需要が伸びてまいりました。その結果、当初の計画を上回り5,850百万円(当初予想比:300百万円増)となる見込みであります。

経常利益は、全体的な売上の増加に加え、生産効率の向上などによる原価の低減に努めた結果、505百万円(当初予想比:245百万円増)となる見込みであります。

中間純利益は、上記の理由により216百万円(当初予想比:106百万円増)となる見込みであります。

##### (3) 通期(平成17年11月1日~平成18年10月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	11,600	730	350
今回修正(B)	12,000	880	360
増減額(B-A)	400	150	10
増減率	3.4%	20.5%	2.9%

(4) 修正理由

通期の業績予想に関しましては、売上高については増加を見込んでおります。一方、利益面では原油価格の高騰に伴う原材料価格の更なる上昇や、LCD用高分子材料における販売価格の下落などをマイナス要因として想定しております。また、耐塗可塗料化工（青島）有限公司の売上は伸長しつつありますが、期初の計画を下回る見通しであります。これらの要因により、売上高は当初予想を400百万円上回る12,000百万円、経常利益は当初予想を150百万円上回る880百万円、当期純利益は当初予想を10百万円上回る360百万円とさせていただきます。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

(5) ご参考：前期の実績（平成16年11月1日～平成17年10月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（16/11～17/4）	5,057	182	80
通期（16/11～17/10）	10,742	501	189

2. 平成18年10月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期（平成17年11月1日～平成18年4月30日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	5,250	250	130
今回修正（B）	5,533	481	243
増減額（B-A）	283	231	113
増減率	5.4%	92.5%	87.4%

(2) 修正理由

当中間期の売上高は、塗料事業においては国内の住宅着工件数が堅調に推移したこともあり、建材用塗料の売上が増加いたしました。一方、ファインケミカル事業では、特に自己治癒コーティング材の使用量が電子材料分野を中心に高まりました。その結果、当初の計画を上回り5,533百万円（当初予想比：283百万円増）となる見込みであります。

経常利益には、全体的な売上の増加に加え、生産効率の向上などによる原価の低減に努めた結果、481百万円（当初予想比：231百万円増）となる見込みであります。

中間純利益は、上記の理由により243百万円（当初予想比：113百万円増）となる見込みであります。

(3) 通期（平成17年11月1日～平成18年10月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	10,900	680	380
今回修正（B）	11,360	820	400
増減額（B-A）	460	140	20
増減率	4.2%	20.6%	5.3%

(4) 修正理由

通期の業績予想に関しましては、売上高については増加を見込んでおります。一方、利益面では原油価格の高騰に伴う原材料価格の更なる上昇や、LCD用高分子材料における販売価格の下落などをマイナス要因として想定しております。これらの要因により、売上高は当初予想を460百万円上回る11,360百万円、経常利益は当初予想を140百万円上回る820百万円、当期純利益は当初予想を20百万円上回る400百万円とさせていただきます。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

(5) ご参考：前期の実績（平成16年11月1日～平成17年10月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（16/11～17/4）	5,026	211	114
通期（16/11～17/10）	10,428	503	247

以 上